

# 第1063回教育委員会

平成30年10月18日  
県庁舎教育委員室

1 開 会 午後2時

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 報 告

- (1) 第73回国民体育大会山形県選手団の成績について  
(スポーツ保健課競技力向上・アスリート育成推進室)
- (2) 平成31年度震災による福島県等からの山形県立高等学校への受検に係る実施要項について  
(高校教育課)

5 議 題

- 議第1号 山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について  
(教職員課)
- 議第2号 平成31年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校高等部の入学者募集について  
(高校教育課、特別支援教育課)
- 議第3号 平成32年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針の決定について  
(高校教育課)
- 議第4号 教職員の人事について  
(教職員課)

6 閉 会

# 第73回国民体育大会結果

1. 大会期日 スケート競技 平成30年 1月28日(日)～ 2月 1日(火)  
 スキー競技 平成30年 2月25日(日)～ 2月28日(水)  
 会期前 平成30年 9月 9日(日)～ 9月17日(月)  
 主会期 平成30年 9月29日(土)～10月 9日(火) 開会式9月29日(土)

2. 会 場 冬 季(スケート・スキー) 山梨県下・新潟県下  
 本大会(会期前・主会期) 福井県下

3. 県選手団 冬 季 スケート競技 団長 武田 浩一 以下39名  
 スキー競技 団長 小山 寛 以下85名  
 本大会 団長 吉村美栄子 以下460名(31競技)

4. 総合成績  
 天皇杯(男女総合成績) 第34位 817.25点 (72回 31位 873.5 71回 26位 929)  
 皇后杯(女子総合成績) 第23位 575.25点 (72回 25位 541.5 71回 23位 566)

5. 競技別総合順位  
 カヌー競技 男女総合 第2位 女子総合 第2位  
 アーチェリー競技 男女総合 第7位 女子総合 第3位  
 スケート競技 男女総合 第8位 女子総合 第7位

6. 入賞競技団体 19競技(前回17競技)  
 陸上競技、水泳(競泳・飛込)、ボート、ボクシング、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、馬術、フェンシング、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、カヌー、アーチェリー、なぎなた、スケート、スキー(※国体競技番号順)

7. 優勝数

第73回	(福井県)	11
第72回	(愛媛県)	10
第71回	(岩手県)	12

8. 団体・個人別 入賞数及び得点 ※( )の数は、昨年(第72回)の入賞数・得点等

区別	入賞数	得点	得点割合 %
団体	11 (11)	144.0 (184.5)	34.5% (39.0)
個人	60 (68)	273.25 (289.0)	65.5% (61.0)
合計	71 (79)	417.25 (473.5)	100%

競技得点	
陸上競技	41.25
水泳(競泳)	12.5
水泳(飛込)	5.0
ボート	8.0
ボクシング	2.5
バスケットボール	12.5
レスリング	5.0
ウエイトリフティング	8.0
ソフトテニス	20.0
馬術	4.0
フェンシング	3.0
弓道	13.5
ライフル射撃	20.0
剣道	12.5
ラグビーフットボール	7.5
カヌー	105.0
アーチェリー	21.0
なぎなた	6.0
スケート	97.0
スキー	13.0
合計	417.25

9. 種別 入賞数及び得点

種別	入賞数	得点	得点割合 %
成年男子	14 (14)	61.5 (76.5)	14.7% (16.1)
成年女子	14 (12)	78.25 (85.5)	18.8% (18.1)
少年男子	21 (32)	120.5 (185.5)	28.9% (39.2)
少年女子	22 (21)	157.0 (126.0)	37.6% (26.6)
合計	71 (79)	417.25 (473.5)	100%

成年	28 (26)	139.75 (162.0)	33.5% (34.2)
少年	43 (53)	277.5 (311.5)	66.5% (65.8)
合計	71 (79)	417.25 (473.5)	100%

10. 性別 入賞数及び得点

性別	入賞数	得点	得点割合 %
男子	35 (46)	182.0 (262.0)	43.6% (55.3)
女子	36 (33)	235.25 (211.5)	56.4% (44.7)
合計	71 (79)	417.25 (473.5)	100%

\*H29からカヌー・ヘア競技が個人競技得点扱い

11. 第73回国民体育大会入賞一覧

NO	順位	競技名	種別	種目	選手名	所属	競技得点	
1	1位	陸上競技	少年女子	円盤投げ	齋藤 真希	鶴岡工業高校	8.0	
2		ボート	少年女子	シングルスカル	鈴木 伶奈	酒田光陵高校	8.0	
3		弓道	成年女子	団体遠的	山形選抜(本間・須貝・山本)	所属なし・小森マシナリー・佐藤病院	13.5	
4		カヌー	少年男子	JK-2(500)	設楽勝太・小野隼人	谷地高校	8.0	
5		カヌー	少年男子	JC-2(500)	荒木岳樹・伊藤真大	谷地高校	8.0	
6		カヌー	少年女子	JWK-4(500)	増川知保・佐藤奈津・吉田奈未・平泉真衣	谷地高校・寒河江高校	24.0	
7		カヌー	少年男子	JK-2(200)	設楽勝太・小野隼人	谷地高校	8.0	
8		カヌー	少年男子	JC-2(200)	荒木岳樹・伊藤真大	谷地高校	8.0	
9		カヌー	少年女子	JWK-4(200)	増川知保・佐藤奈津・吉田奈未・平泉真衣	谷地高校・寒河江高校	24.0	
10		スケート(スピード)	成年男子	500m	森永 一帆	山形市体育協会	8.0	
11	スケート(スピード)	少年男子	500m	森重 航	山形中央高校	8.0		
12	2位	陸上競技	少年女子B	100mH	高橋 夢華	九里学園	7.0	
13		ライフル射撃	少年女子	BP40JW	佐藤 琳	成立学園高校	7.0	
14		カヌー	少年男子	JC-1(200)	斎藤 翼	谷地高校	7.0	
15		スケート(スピード)	少年女子	1500m	ウィリアムソン レミ	山形中央高校	7.0	
16		スケート(スピード)	少年女子	3000m	鈴木 杏菜	山形中央高校	7.0	
17	スケート(スピード)	少年女子	2000mリレー	鈴木杏菜・秋田玲菜・古川智洋・小坂 凜	山形中央高校	7.0		
18	3位	陸上競技	少年女子	100m	青野 朱李	山形中央高校	6.0	
19		競泳	少年男子	50m自由形	今野 太介	羽黒高校	5.5	
20		カヌー	成年女子	WC-1(500)	佐藤 恵	山形県体育協会	6.0	
21		カヌー	少年男子	JC-1(500)	斎藤 翼	谷地高校	6.0	
22	カヌー	成年女子	WC-1(200)	佐藤 恵	山形県体育協会	6.0		
23	4位	陸上競技	少年女子	400m	青野 朱李	山形中央高校	5.0	
24		競泳	成年女子	400m自由形	長谷川 鼓	日本体育大学	5.0	
25		飛込	少年男子	飛板飛込	松本 慧	米沢東高校	5.0	
26		ライフル射撃	成年女子	10mS40W	高橋 佳倫	明治大学	5.0	
27		ライフル射撃	成年男子	CFP(精密・速射)	緒形 拓也	山形県警察	5.0	
28		アーチェリー	成年女子	団体	山形選抜(中村・船見・富樫)	ハードオフ・コーポレーション 早稲田大学・近畿大学	15.0	
29		スケート(スピード)	成年男子	1000m	中尾 光杜	山形県体育協会	5.0	
30		スケート(スピード)	成年男子	5000m	横山 碧生	山形県スケート連盟	5.0	
31		スケート(スピード)	少年男子	1500m	櫻井俊太郎	山形中央高校	5.0	
32		スケート(スピード)	少年男子	10000m	林 雅人	山形中央高校	5.0	
33	スケート(スピード)	少年女子	1500m	小坂 凜	山形中央高校	5.0		
34	スケート(スピード)	少年女子	3000m	ウィリアムソン レミ	山形中央高校	5.0		
35	スキー	少年女子	ジャイアントスラローム	越後英美華	日大山形高校	5.0		
36	5位	陸上競技	少年女子	800m	長沼 明音	九里学園	4.0	
37		ボクシング	成年男子	ライトヘビー級	栗田 琢郎	日本大学	2.5	
38		バスケットボール	成年女子	団体	山形選抜	山形銀行・山形大学	12.5	
39		レスリング	成年男子	フリー86kg級	高島 優太	山形市体育協会	2.5	
40		レスリング	成年男子	グレコ77kg級	池田貴太郎	中央大学	2.5	
41		ソフトテニス	少年男子	団体	山形選抜(齋藤龍・旭・齋藤大・根本・澤田)	羽黒高校	20.0	
42		剣道	成年男子	団体	山形選抜(三浦・川井・土門・阿部・日向)	齋藤農機・酒田西高校(教)・山形県警察	12.5	
43		スケート(スピード)	少年男子	10000m	関口 佳弘	山形中央高校	4.0	
44		スケート(スピード)	少年男子	1000m	北澤 佑樹	山形中央高校	4.0	
45		スケート(スピード)	少年男子	5000m	森野 太陽	山形中央高校	4.0	
46	スケート(スピード)	少年男子	2000mリレー	佐竹終真・北澤佑樹・椿 尚大・森重 航	山形中央高校	4.0		
47	スケート(スピード)	少年女子	1000m	小坂 凜	山形中央高校	4.0		
48	6位	陸上競技	少年男子	三段跳	松田 基	山形中央高校	3.0	
49		陸上競技	成年女子	円盤投げ	齋藤 早希	庄内AC	3.0	
50		陸上競技	少年女子	400mH	阪 希望	山形中央高校	3.0	
51		ウエイトリフティング	少年男子	62kgクリーン&ジャーク	叶野 龍聖	庄内農業高校	3.0	
52		ウエイトリフティング	成年女子	53kgクリーン&ジャーク	小関 優芽	平成国際大学	3.0	
53		馬術	成年男子	スピード&ハンディネス	二位関 堯	やまがた乗馬クラブ	3.0	
54		ライフル射撃	成年男子	CP30M	緒形 拓也	山形県警察	3.0	
55		スケート(スピード)	成年女子	2000mリレー	山口亜実・木村さえり・小金澤翠子・小竹琉湖	大東文化大学・都留文科大学 SPORTS.L.P.O.・早稲田大学	3.0	
56		スケート(スピード)	少年女子	500m	古川 智洋	山形中央高校	3.0	
57		スケート(スピード)	少年女子	1000m	古川 智洋	山形中央高校	3.0	
58	7位	スキー	少年男子	クロスカントリー	石山稔平・渡辺啓豊・佐藤 凌・菊地 哲	北村山・北村山・北村山・九里学園	3.0	
59		スキー	少年女子	ジャイアントスラローム	五十嵐紫乃	山形中央高校	3.0	
60		陸上競技	成年男子	110mH	古川裕太郎	山形TFC	2.0	
61	8位	ウエイトリフティング	成年男子	56kgスナッチ	長谷部達也	中央大学	2.0	
62		ラグビーフットボール	成年男子	団体	山形選抜		7.5	
63		アーチェリー	少年女子	団体	山形選抜(佐藤・阿部・鎌田)	鶴岡北高校・鶴岡中央高校・鶴岡南高校	6.0	
64		なぎなた	少年女子	試合	山形選抜(武田・徳永・鈴木)	天童高校(教)・宮川中学校(教)・山辺商工会	6.0	
65		スキー	成年女子	クロスカントリー	近田 沙稀	米沢スキークラブ	2.0	
66	8位	陸上競技	成年女子	走高跳	武田 萌加	山形大学	0.25	
67		競泳	成年女子	100m背泳ぎ	西脇 怜奈	筑波大学	1.0	
68		競泳	少年男子	100m自由形	今野 太介	羽黒高校	1.0	
69		馬術	少年男子	ダービー	金野 裕平	日大山形高校	1.0	
70		フェンシング	成年女子	団体フルーレ	山形選抜(川崎・梅津・高田)	日大山形高校(教)・法政大学	3.0	
71	スケート(スピード)	成年男子	1000m	森永 一帆	山形市体育協会	1.0		
※1 弓道競技 成年女子は、台風による競技日程変更に伴い、遠的初日上位8県を1位とした。							競技得点合計	417.25
※2 ドリームキッズ修了生、ボート競技1位、ライフル射撃競技・陸上競技2位の3人が入賞を果たした。							参加得点	400.0
							<b>第73回国体得点合計</b>	<b>817.25</b>

\* 天皇杯得点外競技(アーチェリーは、成年の部で選手権を開催しているが、競技得点に加算していない。)

1位	水球	女子	団体	山形選抜	*H31茨木国体から正式種目
3位	アーチェリー	成年女子	個人	富樫郁奈	近畿大学
5位	アーチェリー	成年女子	個人	中村美樹	(株)ハードオフ・コーポレーション

平成31年度

震災による福島県等からの山形県立高等学校への受検に係る実施要項

### 1 目的

- (1) 震災の影響により山形県（以下、「本県」という）内の小学校に転学し中学校に入学、あるいは本県中学校に転学し（以下、「震災による転入生」という）、平成31年度の本県県立高等学校を受検しようとする生徒に対応し、円滑かつ公正な受検に資する。
- (2) 原発事故等の影響により、福島県を中心に、本県県立高等学校へ受検しようとする生徒の増加が見込まれることから、他県から受検を希望する中学生及び本県中学生が安心して受検できる入学者選抜制度に資する。

### 2 本実施要項において対象となる生徒

本県または本県以外の中学校を卒業見込みの者で以下の項目のいずれかに該当する者とする。

- (1) 震災で罹災した者、または罹災地域に居住しており、地域環境の悪化等により通常の生活を営めず避難に及んだ者
- (2) 福島第一原子力発電所の20キロ圏内に居住しており避難に及んだ者または、その付近に居住しており、原発事故による放射線の影響のため地域環境が悪化し、避難を余儀なくされた者
- (3) 福島県内の居住地から、放射線の影響により避難をした者

### 3 定員等

- (1) 平成31年度入学者選抜において、震災等の影響による定員の変更はないが、他県からの受検者の増加に対し、以下の配慮を行う。

- ① 震災の影響による受検者が受検する学校にあつては、あらかじめ1学級あたりの上限を45名以内に定め、合格者を認定できるものとする。
- ② 公立高等学校長は中学校長に対して、受検者が震災による避難者であるか確認を求めることができる。

中学校長は、自校の震災による避難者が本県県立高等学校に志願する場合には、その生徒についての証明を別紙により志願先高等学校長あて提出する。

- (2) 志願の制限

#### ① 住民登録

ア 本県県立高等学校を受検しようとする者は、入学までに、本県に住民登録を行うものとする。

イ 本県の中学校を卒業見込みの者については、本県内への住民登録を条件としない。この場合、在籍中学校の所在地を受検者の現住所とみなし、本県の学区制に従い受検できるものとする。

- ② 学区外志願の認定については以下のとおりとする。

ア 本県外からの志願を許可する基準は「一家転住等」である。

イ 震災の影響の場合であっても、保護者と同居をしない転住（本人のみの転居等）については許可しない。ただし、保護者の認定については弾力的に対応するものとする。

- ③ 区域外就学により県内の中学校を卒業見込みの者が本県外公立高等学校に入学志願する場合も、「山形県公立高等学校に志願しない旨の届」（別記様式第5号D）を本県教育委員会教育長に1部提出すること。
- (3) 推薦入学者選抜
  - ① 平成31年3月に本県中学校を卒業見込みの生徒については、推薦入学者選抜の受検資格があるものとし、本県への住民登録を条件としない。
  - ② 震災の影響により受検者が増加した場合は、学校で定める推薦による選抜の募集人員より合格内定者を多く認定することができる。
- (4) 一般入学者選抜
  - ① 震災の影響による受検者の合否の判断については、一般入学者選抜に係る選抜方法により判断する。
  - ② 合格者の認定に当たっては、入学定員を超えて本県受検者の合格者が出ないようにすること。

#### 4 配慮事項

- (1) 入学定員の上限については、3の(1)①により県立高等学校長が判断できるものとするが、合格発表に先立って上限を公にすることはしない。
- (2) 震災による受検者の調査書については、その扱いについて配慮する。
- (3) 面接における質問の内容について配慮する。

#### 5 その他

- (1) 各県立高等学校長は、震災の影響による他県からの受検者の出願及び合格(内定)状況を、高校教育課長に報告しなければならない。
- (2) 当実施要項は、平成31年度入選に対応したものであり、平成32年度以降の入学者選抜に当たっては、避難者の推移等を参考のうえ別途対応する。

議第 1 号

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

山形県立高等学校管理運営規則の一部を改正する規則

山形県立高等学校管理運営規則（昭和 41 年 4 月県教育委員会規則第 3 号）の一部を次のように改正する。

別表第 1 中「240」を「200」に、

「

同	山形工業高等学校	工 業	機械システム	募集停止			
			電子システム	募集停止			
			情報システム	募集停止			
			建築システム	募集停止			
			環境システム	募集停止			
			機械	40			
			電子機械	40			
			電気電子	40			
			情報技術	40			
			建築	40			
			土木・化学	40			

を

」

「

同	山形工業高等学校	工 業	機械	40			
			電子機械	40			
			電気電子	40			
			情報技術	40			
			建築	40			
			土木・化学	40			

に、

」

「

200
40
40

を

「

160
40
40

に、

」

「

同	谷地高等学校	普 通		120
---	--------	-----	--	-----

を

」

「

同	谷地高等学校	普 通		80
---	--------	-----	--	----

に、

」

「

同	小国高等学校	普通		80	を
---	--------	----	--	----	---

」

「

同	小国高等学校	普通		40	に、
---	--------	----	--	----	----

」

「

120	を	120	に、
160		120	

」

「

同	鶴岡中央高等学校	総合		160	を
---	----------	----	--	-----	---

」

「

同	鶴岡中央高等学校	総合		120	に、
---	----------	----	--	-----	----

」

「

同	庄内農業高等学校	農業	生物生産 園芸科学 生物環境 食料生産 食品化学	募集停止 募集停止 募集停止 40 40				を
---	----------	----	--------------------------------------	----------------------------------	--	--	--	---

」

「

同	庄内農業高等学校	農業	食料生産 食品化学	40 40				に、
---	----------	----	--------------	----------	--	--	--	----

」

「

同	酒田光陵高等学校	工業	機械 電子機械 エネルギー技術 環境技術	40 40 40 40				を
---	----------	----	-------------------------------	----------------------	--	--	--	---

」

「

同	酒田光陵高等学校	工業	機械 電子機械 エネルギー技術 機械制御 電気電子 環境技術	募集停止 募集停止 募集停止 40 40 40				に
---	----------	----	---	--	--	--	--	---

」

改める。

附 則

この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

提 案 理 由

平成 31 年度高等学校再編整備計画に伴う入学定員の変更及び学科名変更を行うため提案するものである。

平成 30 年 10 月 18 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 渉

山形県立高等学校管理運営規則新旧対照表

現 行				改 正 案			
～略 別表第1	高等学校の名称・課程及び入学定員	全日制の課程 設置学科 入学定員	定時制の課程 設置学科 入学定員	～略 別表第1	高等学校の名称・課程及び入学定員	全日制の課程 設置学科 入学定員	定時制の課程 設置学科 入学定員
山形県立山形南高等学校	普通	240		山形県立山形南高等学校	普通	200	
(略)				(略)			
同	山形工業高等学校	工業 機械シス テム 電子シス テム 情報シス テム 建築シス テム 環境シス テム 機械	募集停止 募集停止 募集停止 募集停止 募集停止 40 40	同	山形工業高等学校	工業 機械 電子機械 電気電子 情報技術 建築 土木・化 学	40 40 40 40 40 40
(略)				(略)			
同	上山明新館高等学校	普通	200	同	上山明新館高等学校	普通	160
(略)				(略)			
同	谷地高等学校	普通	120	同	谷地高等学校	普通	80
(略)				(略)			
同	小国高等学校	普通	80	同	小国高等学校	普通	40
(略)				(略)			

現

行

改 正 案

同 鶴岡中央高等学校	総 合	160			
(略)					
同 庄内農業高等学校	農 業	生物生産	募集停止		
		園芸科学	募集停止		
		生物環境	募集停止		
		食料生産	40		
		食品化学	40		

(略)

同 酒田光陵高等学校	工 業	機 械	40		
		電子機械	40		
		エネルギー ギ一技術	40		
		環境技術	40		

(略)

同 鶴岡中央高等学校	総 合	120		
------------	-----	-----	--	--

(略)

同 庄内農業高等学校	農 業	食料生産	40	
		食品化学	40	

(略)

同 酒田光陵高等学校	工 業	機 械	募集停止	
		電子機械	募集停止	
		エネルギー ギ一技術	募集停止	
		機械制御	40	
		電気電子	40	
		環境技術	40	

(略)

平成30年 山形県議会9月定例会 上程請願要旨

文教公安常任委員会

番号	受理年月日	件名	提出者及び紹介議員	要旨	県の意見
42	30.9.20	酒田光陵高等学校工業科の再編整備計画の見直しについて	<p>(提出者) 酒田市中町二丁目5番10号 酒田商工会議所 会頭 弦巻 伸 外1名</p> <p>(紹介議員) 石黒、森田、星川</p>	<p>請願の趣旨 山形県教育委員会は昨年3月に、県立酒田光陵高等学校の工業科を平成31年度から、4学科を3学科へ再編整備すると計画を公表しております。この計画に対して、私たちはこれまで何度も、現状の工業科4学科を維持するよう、計画の見直しを要望して参りました。</p> <p>県立高校再編整備基本計画は平成26年11月に策定されておりますが、環境厳しい中にありながらも平成23年頃から酒田市の工業出荷額や酒田港コンテナ取扱量も大幅な上昇が継続しており、また今後の酒田北港周辺へのエネルギーミックスを中心とした設備投資が予定されていることから、酒田市の今後の産業を支える大きな柱となる工業系の優秀な人材確保や、これからの酒田市や本県の産業振興のためにも整備計画の見直しをお願いするものです。</p> <p>また山形県教育庁は、工業科の1学科を削減する計画の主な理由として、耐震補強はしたものの安全確保上、旧酒田市立中央高等学校の体育館の使用を3年後には停止する当初計画のためとしております。生徒の安全確保のために代替体育館への切り替え等、早急に対策を講じて下さるようお願いいたします。</p> <p>以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。</p>	<p>県教育委員会では、酒田飽海地区の中学校卒業生数の減少に対応するため、酒田光陵高等学校設立時の整備方針に則り、平成31年度に工業科を学級減することとが妥当であると考えております。また、この時期に計画を見直すことは教育現場に混乱をきたすことが懸念されます。今後は、県内定着促進の取組みを強化し、地域産業を担う人材育成に一層努めてまいります。</p> <p>(担当課：教育庁高校教育課)</p>



## 酒田光陵高校工業科の学級減について

平成30年10月18日 高校教育課

### 1 経過

#### (1) 酒田飽海地区の中学校卒業生数の減少に対応した学級減の在り方について

- 「県立高校再編整備基本計画」(H27～36年度)では、酒田飽海地区の中学校卒業生数が約300人減少するのに対応して、県立高校の学級数を地区全体で5学級程度削減するとしている。
- これまで、H27～30年度の4カ年で約150名の減少に対応するとともに、私立高校の経営にも配慮して3学級削減した。今後、減少が続くH31～34年度でさらに2学級程度削減する必要があるが、後述の酒田光陵高校の整備計画に基づき、H31年度に1学級減することとした。H33～34年度にはさらに地区全体で1学級減する必要がある。

#### <酒田飽海地区の中学校卒業生数の推移>

(単位：人)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
人数	1,217	1,091	1,081	1,139	1,068	1,044	989	917	903	904	904
対前年	3	-126	-10	58	-71	-24	-55	-72	-14	1	0
学級減		1学級	1学級		1学級	1学級		1学級			

#### (2) 酒田光陵高校の整備計画について

- 酒田光陵高校は、県教育委員会と酒田市の間で協議を重ねた上で、酒田市内の4校を統合し、普通科3学級・商業科3学級・工業科4学級・情報科1学級の合計11学級で、学科の枠を越えた学習も可能な総合選択制高校として、平成24年度に開校した。
- その後も続く中学校卒業生数の減少に対応して、開校当初から、高校として望ましい規模(1学年当たり4～8学級)の上限である8学級まで、早い段階で削減する予定としていた。そのため、新しい校舎及び体育館は1学年8学級規模で整備し、不足分は隣接する旧酒田市立酒田中央高校の校舎及び体育館を使用することとした。
- H27年度に商業科、H28年度に普通科、H30年度に酒田西高校普通科を削減した。予定していた酒田光陵高校のもう1学級の削減については、設立時の理念を踏まえるとともに、中学生や多様な地域産業のニーズに応えることができるよう学科バランスに配慮して、工業科を1学級減じ、普通科2学級・商業科2学級・工業科3学級・情報科1学級とすることとした。

- 工業科を学級減する年度については、工業人材の育成に配慮する一方で、望ましい学校規模の上限である 8 学級までの削減を早い段階で行う必要があることや、公私比率について、県全体と比べて酒田飽海地区の公立の割合が高くなっていることなどを総合的に判断して、H31 年度とした。

### (3) 計画公表後の経緯

- 毎年の学級減の計画は、当該校における学級減後の学校運営に向けた検討や、中学生の進路選択に配慮して、実施の 3 年度前に公表しており、H31 年度分については、H29 年 3 月に酒田光陵高校工業科を含め県全体で 5 校の学級減を公表した。
- 計画の公表以来、酒田商工会議所等と丁寧な意見交換を行い、理解を得られるよう努めてきた。

## 2 計画を変更した場合の影響

- 当該校では学級減に向けた準備を進める必要があり、県教育委員会と学校との間で協議を重ねた上で、酒田光陵高校工業科の新しい学科構成及び教育課程が完成している。また、来年度の教科書選定や中学生への説明会などの業務も終了している。そのため、この時期に計画が変更となった場合、教育現場に混乱をもたらす懸念がある。

## 3 今後の取組み

- 教育課程の工夫により、これまで同様、工業の 6 領域を選択して学習できるようにするとともに、これまで以上に高い専門性を重視した教育活動を通して、ハイレベルな資格取得に挑戦させるなどして、地域産業に求められる技術者を育成する。
- 地域産業界と連携しながら、県内企業への就職を促進する取組みを強化していく。さらに、普通科を含めたすべての学科でインターンシップを実施するなど、キャリア教育に一層力を入れていく。
- 教育委員会と商工労働部等が密に連携を図りながら、地域産業界の協力を得て、卒業生の県内定着に資する取組みを積極的に行う。

以上のことから、平成 31 年度の酒田光陵高校工業科の学級減は当初の予定通り実施することが妥当であると考えている。

## 別紙資料

### 1 中学生が希望する学科（県全体）

普通科	専門学科	総合学科
62.6%	26.5%	10.9%

<専門学科の内訳>

外国語	芸術	理数	体育	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	情報	その他
0.5%	0.8%	0.6%	1.4%	2.0%	0.5%	11.1%	3.0%	1.5%	0.8%	0.9%	1.9%	1.0%

（山形県教育委員会「高校教育に関する意識調査」（平成25年度）より）

### 2 公立高校全日制の総入学定員に占める各学科の定員割合（平成30年度）

	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	総合
県全体	54.3%	5.4%	16.3%	8.2%	1.1%	1.1%	0.5%	0.5%	12.5%
酒田飽海地区	57.9%	0.0%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%

### 3 酒田光陵高校の学科別の最終倍率（過去5年間）

	H26	H27	H28	H29	H30
普通	1.03	1.03	0.95	1.20	1.00
工業	0.88	0.96	1.05	0.96	1.01
商業	0.81	0.95	0.99	1.11	0.89
情報	1.20	0.73	1.20	1.13	1.00

### 4 酒田飽海地区の高等学校入学者数及び公私比率

年度	地区	公立	私立	計
H30	酒田飽海地区	709人 (82.2%)	154人 (17.8%)	863人
	県全体	6,796人 (68.5%)	3,129人 (31.5%)	9,925人
H29	酒田飽海地区	792人 (76.2%)	247人 (23.8%)	1,039人
	県全体	7,088人 (69.0%)	3,191人 (31.0%)	10,279人
H28	酒田飽海地区	806人 (80.6%)	194人 (19.4%)	1,000人
	県全体	7,265人 (70.5%)	3,033人 (29.5%)	10,298人

### 5 酒田光陵高校工業科の学級減公表後の経緯

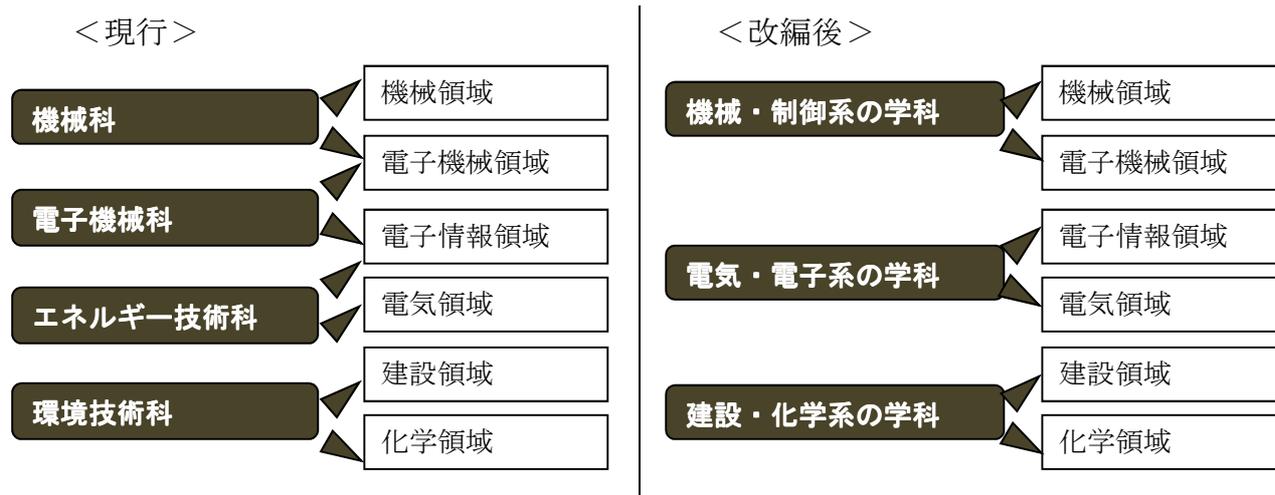
<平成29年>

- 3/9 (木) 県議会で平成31年度の学級減対象校を報告
- 3/17 (金) 教育次長・室長が酒田市長を訪問し説明（酒田商工会会頭が同席）
- 6/5 (月) 市長・酒田商工会会頭・外5名が教育長を訪問し、学級減の先送りを要望
- 6/19 (月) 市長が知事を訪問し、重要事業要望の1つとしてこの件を要望
- 10/30 (月) 酒田商工会会頭・外6名が県教育長を訪問し要望
- 12/26 (火) 酒田商工会専務理事・外3名が来庁し、室長と意見交換

<平成30年>

- 1/12 (金) 市長・市議会議員・酒田商工会会頭・外11名が来庁し、県議会議員・教育長に要望
- 2/ 8 (木) 教育次長・室長・主任指導主事が酒田商工会を訪問し説明
- 4/17 (火) 室長が酒田商工会を訪問し、工業部会に説明、意見交換
- 4/25 (水) 教育長・室長が酒田市・飽海郡選出県議3名に説明、意見交換
- 5/22 (火) 副市長・市議会議員・酒田商工会会頭・外4名が来庁、副知事と意見交換

## 6 酒田光陵高校工業科の平成31年度以降の学科構成と学習領域



- 改編後も現行同様6領域の学習が可能である。
- 各学科で2領域ずつから選択して学習できるように整理した。
- 高い専門性を重視した教育活動を通して、ハイレベルな資格取得に挑戦させる。

## 7 酒田光陵高校の就職状況 (平成30年3月卒業生)

学科	卒業生 人数(a)	就職者			
		県内		県外	
		人数(b)	割合(b/a)	人数(c)	割合(c/a)
普通	119人	24人	20.2%	22人	18.5%
商業	78人	34人	43.6%	19人	24.4%
工業	154人	66人	42.9%	71人	46.1%
情報	28人	10人	35.7%	3人	10.7%

## 8 酒田光陵高校の地元定着に向けた取組み

- 地元企業説明会の充実 (3年生から2年生に前倒しして実施) (全学科)
- インターンシップ (商業科・工業科に加え、新たに普通科・情報科も実施) (2年生)
- 地元企業技術者と生徒の懇談会 (新規実施) (工業科2年生)
- 企業個別訪問 (酒田市雇用対策協議会との連携事業) (新規実施) (2・3年生全学科)
- 中長期インターンシップの実施 (工業科3年生)
- 地元企業と教員の情報交換 (工業科)

議第 2 号

平成 31 年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入  
学者募集について

平成 31 年度山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学者を別紙  
のとおり募集する。

提 案 理 由

平成 31 年度における山形県立高等学校及び山形県立特別支援学校の高等部の入学  
者の募集を行う必要があるため提案するものである。

平成 30 年 10 月 18 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 渉

## 1 山形県立高等学校全日時の課程及び定時制の課程

学 校 名	全 日 制 の 課 程			定 時 制 の 課 程		特 記
	設 置 学 科	入 学 定 員	設 置 学 科	入 学 定 員		
山形県立山形東高等学校	普通 探究	160 80				一般入学者選抜において、理数探究科と国際探究科をあわせて、探究科として募集する。
同 山形南高等学校	普通 理数	200 40				
同 山形西高等学校	普通	200				
同 山形北高等学校	普通 音楽	160 40				
同 山形工業高等学校	工業	40				
	機	40				
	電 子 機 械	40				
	電 気 電 子	40				
	情 報 技 術	40				
	建 築	40				
	土 木 ・ 化 学	40				
同 山形中央高等学校	普通 体育	160 80				
同 霞城学園高等学校			普 通		午前 40 午後 40 夜 40	
同 上山明新館高等学校	普通	160				
	農 業	40				
	商 業	40				
同 天童高等学校	総合	160				
同 山辺高等学校	家庭	40				
	食 物	40				
	福 祉	40				
	看 護	40				
同 寒河江高等学校	普通	200				普通科一般コース160名、普通科探究コース40名をそれぞれ募集する。
同 寒河江工業高等学校	工業	40				
	機	40				
	電 子 機 械	40				
	情 報 技 術	40				
同 谷地高等学校	普通	80				
同 左沢高等学校	総合	120				
同 村山産業高等学校	農 業	40				
	農 業 経 営	40				
	農 業 環 境	40				
	工 業	40				
	機 械	40				
	電 子 情 報	40				
	商 業	40				
	流 通 ビ ジ ネ ス	40				
同 東桜学館高等学校	普通	200				入学定員に併設型中学校からの入学者数も含む。
同 北村山高等学校	総合	120				
同 新庄北高等学校	普通	200	普 通		夜 40	普通科一般コース160名、普通科探究コース40名をそれぞれ募集する。
同 最上校	普通	40				
同 新庄南高等学校	普通	80				
	商 業	40				
	総 合 ビ ジ ネ ス	40				
同 金山校	普通	40				
同 新庄神室産業高等学校	農 業	40				
	生 物 生 産	40				
	生 物 環 境	40				
	工 業	40				
	機 械 電 気	40				
	環 境 デ ザ イ ン	40				
同 真室川校	普通	40				

学 校 名	全 日 制 の 課 程			定 時 制 の 課 程			特 記
	設 置 学 科	入 学 定 員		設 置 学 科	入 学 定 員		
同 米 沢 興 讓 館 高 等 学 校	普通 探 究	理 数 探 究、 国 際 探 究	120 80				一 般 入 学 者 選 抜 に お い て、 理 数 探 究 科 と 国 際 探 究 科 を あ わ せ て、 探 究 科 と し て 募 集 す る。
同 米 沢 東 高 等 学 校	普通		160				
同 米 沢 工 業 高 等 学 校	工 業	機 械 生 産 デ ザ イ ン 電 気 情 報 建 築 環 境 工 学	40 40 40 40 40	工 業 産 業	夜 40		全 日 制 の 課 程 に お い て、 機 械 科 と 生 産 デ ザ イ ン 科、 建 築 科 と 環 境 工 学 科 は、 そ れ ぞ れ ま と め て 募 集 す る。
同 米 沢 商 業 高 等 学 校	商 業	総 合 ビ ジ ネ ス 情 報 ビ ジ ネ ス	80 40				
同 置 賜 農 業 高 等 学 校	農 業	生 物 生 産 園 芸 福 祉 食 料 環 境	40 40 40				
同 南 陽 高 等 学 校	普通		160				
同 高 畠 高 等 学 校	総 合		120				
同 長 井 高 等 学 校	普通		200				普 通 科 一 般 コ ー ス 160 名、 普 通 科 探 究 コ ー ス 40 名 を そ れ ぞ れ 募 集 す る。
同 長 井 工 業 高 等 学 校	工 業	機 械 シ ス テ ム 電 子 シ ス テ ム 福 祉 生 産 シ ス テ ム	40 40 40				
同 荒 砥 高 等 学 校	総 合		80				
同 小 国 高 等 学 校	普通		40				
同 鶴 岡 南 高 等 学 校	普通 理 数		160 40				一 般 入 学 者 選 抜 に お い て、 普 通 科 と 理 数 科 は、 ま と め て 募 集 す る。
同 山 添 校	普通		40				
同 鶴 岡 北 高 等 学 校	普通		120				
同 鶴 岡 工 業 高 等 学 校	工 業	機 械 電 気 電 子 情 報 通 信 建 築 環 境 化 学	40 40 40 40 40	工 業 工 業 技 術	夜 40		
同 鶴 岡 中 央 高 等 学 校	普通 総 合		120 120				
同 加 茂 水 産 高 等 学 校	水 産	海 洋 技 術 海 洋 資 源	40 40				
同 庄 内 農 業 高 等 学 校	農 業	食 料 生 産 食 品 科 学	40 40				
同 庄 内 総 合 高 等 学 校	総 合		120				
同 酒 田 東 高 等 学 校	普通 探 究	理 数 探 究、 国 際 探 究	120 80				一 般 入 学 者 選 抜 に お い て、 理 数 探 究 科 と 国 際 探 究 科 を あ わ せ て、 探 究 科 と し て 募 集 す る。
同 酒 田 西 高 等 学 校	普通		160	普 通	昼 40		
同 酒 田 光 陵 高 等 学 校	普通 工 業 商 業 情 報	機 械 制 御 電 気 電 子 環 境 技 術 ビ ジ ネ ス 流 通 ビ ジ ネ ス 会 計	80 40 40 40 40 40 40				
同 遊 佐 高 等 学 校	総 合		40				

※山形東高等学校、米沢興讓館高等学校、酒田東高等学校の「探究科」は、理数に関する学科である理数探究科と国際関係に関する学科である国際探究科を合わせて募集する場合の総称として記載しています。

2 山形県立高等学校通信制の課程

学 校 名	設置学科	入学定員
山形県立 霞城学園高等学校	普 通	120
	服 飾	40
同 鶴岡南高等学校	普 通	80

3 山形県立特別支援学校の高等部

学 校 名	受入れ区域	設置学科	入学定員
山形県立山形盲学校	県下一円	普 通	若干名
		保健理療	若干名
同 山形聾学校	県下一円	普 通	若干名
同 山形養護学校	県下一円	普 通	14
同 米沢養護学校	米沢市、南陽市、高島町、川西町	普 通	14
同 米沢養護学校 西置賜校	長井市、小国町、白鷹町、飯豊町	普 通	11
同 ゆきわり養護学校	県下一円	普 通	若干名
同 鶴岡養護学校	鶴岡市、庄内町、三川町	普 通	14
同 酒田特別支援学校	酒田市、遊佐町	普 通	14
同 新庄養護学校	新庄市、金山町、最上町、舟形町 真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村	普 通	22
同 村山特別支援学校	山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町	普 通	11
同 楯岡特別支援学校	村山市、天童市、東根市、尾花沢市 大石田町	普 通	11
同 楯岡特別支援学校 大江校	寒河江市、河北町、西川町、朝日町 大江町	普 通	11
同 上山高等養護学校	山形市、米沢市、寒河江市、上山市 村山市、長井市、天童市、東根市 尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町 河北町、西川町、朝日町、大江町 大石田町、高島町、川西町、小国町 白鷹町、飯豊町	普 通	24
同 鶴岡高等養護学校	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町	普 通	16

(注) 受入れ区域について特別な事情がある場合には、校長が調整する。

4 山形県立高等学校専攻科

学 校 名	設置学科	入学定員
山形県立山辺高等学校	看 護	40

5 山形県立特別支援学校の高等部専攻科

学 校 名	受入れ区域	設置学科	入学定員
山形県立山形盲学校	県下一円	理 療	若干名
同 山形聾学校	県下一円	商業技術	若干名
		生産技術	若干名

議第 3 号

平成 32 年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針の決定について

平成 32 年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針を別紙のとおり決定する。

提 案 理 由

平成 32 年度における山形県立高等学校入学者選抜に係る基本方針を定める必要があるため提案するものである。

平成 30 年 10 月 18 日提出

山形県教育委員会

教育長 廣 瀬 渉

## 平成 32 年度山形県立高等学校入学者選抜基本方針（案）

平成 32 年度山形県立高等学校全日制の課程及び定時制の課程の入学者選抜は、次の方針に基づいて行う。

- 1 入学者の募集は、県教育委員会の公告に基づき、各高等学校長が行う。  
なお、教育長が特に必要と認める場合は、第 2 次募集を行うことができる。
- 2 入学志願は次の各号に定めるところによる。
  - (1) 入学志願は 1 人 1 校とし、在籍又は出身の中学校、これに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長を経由して行うものとする。
  - (2) 入学志願に係る通学区は、「山形県立中学校及び高等学校の通学区に関する規則」（昭和 24 年 3 月県教育委員会規則第 4 号）の定めるところによる。
  - (3) 2 校以上に同時に志願した者は、選抜の対象から除外する。
- 3 入学者の選抜は、各高等学校長が、それぞれ次の各号に定めるところにより行う一般入学者選抜、推薦入学者選抜及び連携型入学者選抜のうちいずれかの選抜方法により、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。  
選抜は、中学校における学習等の諸活動の記録及び県教育委員会が実施する学力検査の成績等の資料に基づいて行う。  
ただし、併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒については入学者選抜は行わない。
  - (1) 一般入学者選抜は、次に定めるところにより行う。
    - ア 中学校長から送付された調査書及び学力検査の成績に基づき選抜する。ただし、体育科及び音楽科の選抜においては、適性検査を行い、その結果を選抜の資料として加えるものとする。
    - イ 調査書中の各教科の評定と学力検査の成績の比率は、高等学校長が定める。
    - ウ 選抜に当たっては、面接を行うものとし、高等学校長は、その結果を選抜の資料に加えることができる。
  - (2) 推薦入学者選抜は、専門学科と総合学科において、必要に応じて、次に定めるところにより行う。
    - ア 推薦入学者選抜は自己推薦によるものとする。この場合、学力検査を行わずに、自己推薦書、調査書及び面接に基づき選抜する。ただし、体育科及び音楽科の選抜においては、適性検査を行い、その結果を選抜の資料として加えるものとする。
    - イ 必要に応じて作文、実技検査及び当該高等学校作成の基礎学力検査を課し、これらの結果等を選抜の資料に加えることができる。
  - (3) 連携型入学者選抜は、中高一貫教育を行う連携型中学校から連携型高等学校への入学者の選抜に当たり、次に定めるところにより行う。
    - ア 学力検査を行わず、「学習のまとめ」及び面接に基づき選抜する。
- 4 調査書を選抜の資料とする場合は、調査書中の「特別活動等の記録」及びその他の記録にも十分留意するものとする。
- 5 学力検査は、次の各号に定めるところにより行う。
  - (1) 学力検査は、平成 32 年 3 月 10 日（火）に同一問題で一斉に行う。
  - (2) 学力検査は、すべての学校・課程・学科において国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）について行う。

- (3) 学力検査の問題は、中学校学習指導要領（平成 20 年文部科学省告示第 28 号）に基づいて出題する。
- (4) 検査時間は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）それぞれ 50 分とする。
- (5) 配点は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）それぞれ 100 点とする。ただし、高等学校長が必要と認めるときは、特定教科の配点の比重を変更することができる。
- 6 高等学校長が必要と認め、自己申告等に関する書類が提出された場合は、これを選抜の資料として加えることができる。
- 7 合格者の発表は、平成 32 年 3 月 17 日（火）に受検番号によって行う。
- 8 国立諸学校を受検して合格した志願者については、在籍又は出身の中学校長は、志願先の高等学校長に対し、国立諸学校への入学の諾否を報告しなければならない。
- 9 その他入学者選抜の実施上必要な事項は、別に定める入学者選抜実施要項に示す。

#### 付 記

- 1 高等学校専攻科の入学者選抜については、別に定める。
- 2 定時制の課程における成人の入学者選抜及び通信制の課程における入学者選考については、別に定める入学者選抜実施要項に示す。